

◆企画名 新入生を迎えよう！！（新入生誘導活動）

日 程 平成 26年 4月 1日（火）

場 所 関西大学千里山キャンパス

参加者数 11名（ピア・サポータ）

目 的

新しく関西大学の仲間（peer）となった新入生に対し、誘導活動を行うことで、新入生へのピア・サポートの普及を行う。ピア・サポータ各自が活動に参加することで、サポータとしての自覚意識を高める。また、ピア・サポータ同士の交流を促進することで、今後の円滑な活動につなげる。

内 容

- ・入学式が行われるまでの約一時間の間、本学正門を中心とした学内での新入生・保護者を対象とした式場への誘導やカメラ撮影補助を行い、スムーズな人の流れが出来るように努めた。
- ・式場（中央体育館）周辺にて午前・午後の入学式後に新入生・保護者の誘導を行った。
- ・新入生・保護者に対して目印となるように、案内板（案内係と印字された紙をラミネート加工したもの）を使用した。案内板は3枚作成、使用した。
- ・運営本部だけでなく、他コミュニティにも参加を呼びかけた。さらに、昼食時にトークテーマボックスを使用し、ピア・サポータ同士が楽しく交流をできるように話題を提供した。
- ・活動時、ピア・コミュニティの青いジャンパーを着用し、ピア・コミュニティの広報にも努めた。

効 果

- ・正門前での誘導において、二人一組で行動することによって撮影補助と写真撮影の列のみだれを正すことが効率よくできた。
- ・入学式誘導に参加経験のあるサポータがいたことによって、当日の流れが良かった。
- ・体育館前での誘導において、新入生とその保護者が会場への道に迷っている時、ピア・サポータとして会場までの案内をしっかりと行えた。
- ・案内板を使用したことによって、新入生とその保護者がサポータに会場までの道など困ったことがあった際、聞きやすい状況をつくることができた。

改 善 点

- ・他コミュニティから誘導活動に協力してくれるサポータを多く集めることができなかった。→募集開始を早めに行うことを心がける。他に良い募集方法などを考える。
- ・正門前での誘導において、全体を見渡し指揮をとる人がいなかった。→全体を見て通路を確保したり、会場へのスムーズな誘導を担う役割を設ける。
- ・誘導時の詳細部分を把握できていなかった。→事前に一度打ち合わせを行う。

感 想

誘導する際の注意点や詳細を事前に打ち合わせをすることができなかったが、臨機応変に対応できたのはよかった。人数が少ないこともあり、細かい誘導が困難だったので、次から多くのサポータに参加してもらえるよう、募集に関して早め早めに行動していくようにする。